

型(シングル・ダブルス) 試合規定

【参加条件】

芦原会館の会員で、健康であること。

【試合形式】

トーナメント方式

【クラス】

大会ごとに変更する。 各大会案内を参照

【行う型】

大会ごとに変更する。 各大会案内を参照

【ダブルス演武方法】

- ・エントリーしている選手を「取り」、相手役を「受け」とする。
- ・赤白の「取り」が二人同時に指定の型を演武する。 主審の号令有り
- ・一人演武終了後、白の「取り」が下がり、赤の「受け」が入ってくる。
- ・指定型を赤の「取りと受け」で演武、終了後二人同時に退場する。 主審の号令無し
- ・白の「受けと取り」が入場し演武を行う。 主審の号令無し
- ・白の演武終了後、白の「受け」が退場し、赤の「取り」が入場し判定を待つ。
- ・二人で演武を行う時は、正面に対し右が「取り」左が「受け」とする。
- ・ペアがない場合は、支部内の下のカテゴリーの選手を代用できる。

【判定方法】

速さ・正確さ・うまさ・連動制を総合的に評価する。

速さ 全体的な勢い・打撃(突き・蹴り)のスピード・ステップのスピード・号令を聞いてからのスタートのタイミング等。
速さを求めるための、小さな突き・蹴り・ステップでは、加点の対象にならない。

正確さ 型の順番・技の種類(ローキックとハイキックの違い・後ろ蹴りと後ろ回し蹴りの違いなど)・ガード・ステップの方向・投げの方向等
型の間違ひは減点の対象。ただし、あくまで減点なので、その他の項目との総合で評価。

うまさ 柔軟性・バランス・姿勢・独自の雰囲気(気合い等)
独自の雰囲気には、入場からの動作も含まれる。

連動制 「受け」と「取り」の連動制の総合バランス。

判定に引分は無い。

【反則】

1. 試合態度が著しく悪い場合。 少年部には礼節を必ずさせる。
2. 競技中の他の選手への明らかな妨害。
3. 応援者による、相手選手への罵声や応援態度に問題があると見受けられた場合。
4. 退場の場合は会場から出て行ってもらいます。

【号令】

1. 号令は、十分間を開けて発令する。
2. 選手が間違い、立ち止まった場合は、待たずにもう片方の選手に合わせて発令する。

【注意】

今大会では、「受け」を付けての演武を行いません。

従来通り、「受け」を付けず、二人同時に指定の型を号令ありで行います。

来年9月の第1回全日本大会から「受け」を付けての演武を実施します。